

受付日：平成20年1月24日
受付番号：HP08-KT003

接合部金物試験証明書

試験結果は、本報告のとおりであることを証明する。
平成20年2月26日

東京都港区浜松町2-4
世界貿易センタービルディング26階
ハウスプラス住宅保証株式会社



試験体名称	ハイスプリング角座金 HS40角
試験依頼者及び住所	名称:株式会社 カナイ 住所:〒340-0833 埼玉県八潮市西袋717-1
試験の目的及び内容	1. 目的 座金のめり込み試験を実施することにより、その耐力を確認する。 2. 試験内容 座金のめり込み試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス住宅保証株式会社「接合部金物試験・評価業務方法書(案)」による。 3. 試験体 (試験体の詳細については別紙に示す) 1) 金物 ハイスプリング角座金 HS40角 材 質: SPHC (JIS G 3131) 寸 法: 40×40mm 厚さ3.2mm 表面処理: Ep-Fe/Zn5/CM2 (JIS H 8625) 接合具(ボルト、ナット) 横架材側:M12全ねじボルト (M12×400mm) 1本、M12ナット 1個 2) 材料 横架材:105×105×500mm すぎ
検討内容	1. 座面積 全面積-孔面積 $(40 \times 40) - (\pi \times (13/2)^2) = 1467.33(\text{mm}^2) \dots \textcircled{1}$ 2. 許容めりこみ耐力の算出(平成13年国土交通省告示第1024号(以下告示)第1の一のイの(3)より) $1\text{mm}^2\text{あたりの長期基準めりこみ耐力} = \frac{1.1F_{cv}}{3} \text{ (N/mm}^2) \dots \textcircled{2}$ $1\text{mm}^2\text{あたりの短期基準めりこみ耐力} = \frac{2F_{cv}}{3} \text{ (N/mm}^2) \dots \textcircled{3}$ $\textcircled{1}\textcircled{2}\text{より長期許容めりこみ耐力} = 538.02F_{cv}(\text{N}) \dots \textcircled{4}$ $\textcircled{1}\textcircled{3}\text{より短期許容めりこみ耐力} = 978.22F_{cv}(\text{N}) \dots \textcircled{5}$ 3. すぎの許容めりこみ耐力の算出(告示第3の二のロより) すぎの基準耐力 $F_{cv} = 6.0(\text{N/mm}^2) \dots \textcircled{6}$ $\textcircled{4}\text{に}\textcircled{6}\text{を代入 長期許容めりこみ耐力} = 3228.12(\text{N})$ $\textcircled{5}\text{に}\textcircled{6}\text{を代入 短期許容めりこみ耐力} = 5869.32(\text{N})$
試験結果	10mm変位時の耐力値 13.7kN (詳細については2/25ページ以降に示す)
試験実施日	平成20年2月4日
報告書作成者及び試験実施担当者	ハウスプラス住宅保証株式会社 評定部 山本 広 株式会社開発設計コンサルタント 技術部 技術研究所 試験員 山川 正昭、尾上 裕介、千葉 博、鈴木 香澄

この接合部金物試験証明書を転載するときは、必ず全文を記載してください。

受付日：平成20年1月24日
受付番号：HP08-KT004

接合部金物試験証明書

試験結果は、本報告のとおりであることを証明する。
平成20年2月26日

東京都港区浜松町2-4-1
世界貿易センタービルディング26階
ハウスプラス住宅保証株式会社



試験体名称	ハイスプリング丸座金 HS45丸
試験依頼者及び住所	名称:株式会社 カナイ 住所:〒340-0833 埼玉県八潮市西袋717-1
試験の目的及び内容	1. 目的 座金のめり込み試験を実施することにより、その耐力を確認する。 2. 試験内容 座金のめり込み試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス住宅保証株式会社「接合部金物試験・評価業務方法書(案)」による。 3. 試験体 (試験体の詳細については別紙に示す) 1) 金物 ハイスプリング丸座金 HS45丸 材 質: SPHC (JIS G 3131) 寸 法: $\phi 45\text{mm}$ 厚さ3.2mm 表面処理: Ep-Fe/Zn5/CM2 (JIS H 8625) 接合具(ボルト、ナット) 横架材側:M12全ねじボルト (M12×400mm) 1本、M12ナット 1個 2) 材料 横架材:105×105×500mm すぎ
検討内容	1. 座面積 全面積-孔面積 $(40 \times 40) - (\pi \times (13/2)^2) = 1467.33(\text{mm}^2) \dots \textcircled{1}$ 2. 許容めりこみ耐力の算出(平成13年国土交通省告示第1024号(以下告示)第1の一のイの(3)より) 1mm^2 あたりの 長期基準めりこみ耐力 $= \frac{1.1F_{cv}}{3}$ (N/mm ²) $\dots \textcircled{2}$ 1mm^2 あたりの 短期基準めりこみ耐力 $= \frac{2F_{cv}}{3}$ (N/mm ²) $\dots \textcircled{3}$ $\textcircled{1}\textcircled{2}$ より長期許容めりこみ耐力 $= 538.02F_{cv}(\text{N}) \dots \textcircled{4}$ $\textcircled{1}\textcircled{3}$ より短期許容めりこみ耐力 $= 978.22F_{cv}(\text{N}) \dots \textcircled{5}$ 3. すぎの許容めりこみ耐力の算出(告示第3の二のロより) すぎの基準耐力 $F_{cv} = 6.0(\text{N/mm}^2) \dots \textcircled{6}$ $\textcircled{4}$ に $\textcircled{6}$ を代入 長期許容めりこみ耐力 $= 3228.12(\text{N})$ $\textcircled{5}$ に $\textcircled{6}$ を代入 短期許容めりこみ耐力 $= 5869.32(\text{N})$
試験結果	10mm変位時の耐力値 14.6kN (詳細については2/25ページ以降に示す)
試験実施日	平成20年2月4日、5日
報告書作成者及び試験実施担当者	ハウスプラス住宅保証株式会社 評定部 山本 広 株式会社開発設計コンサルタント 技術部 技術研究所 試験員 山川 正昭、尾上 裕介、千葉 博、鈴木 香澄

この接合部金物試験証明書を転載するときは、必ず全文を記載してください。